

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和5年1月解析分)

1 今月のトピックス

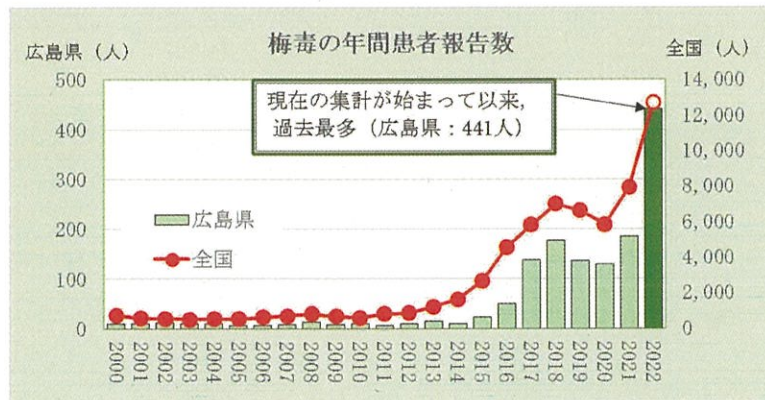
梅毒の年間患者報告数が、過去（1999年以來）最多となりました。

性的接触などで感染する梅毒について、2022年の県内の報告患者数は441人であり、感染症法に基づく現在の集計が始まって以来、過去最多となりました。

新型コロナウイルスの流行でマスク着用などの対策が強化され、他の感染症が減少傾向にある中、梅毒については、全国的に高水準となっています。

梅毒は、早期に治療すれば完治しますが、放置して進行すると脳や心臓に合併症を引き起こすだけでなく、妊婦においては死産などの可能性もあり、早期発見・早期治療が大切です。

このため、保健所では無料で梅毒検査を実施しています。



梅毒とは？

【病原体】梅毒トレポネーマ（細菌）

【感染経路】感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触（主に性的接触）

【予防方法】コンドームの使用（ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などで、感染の可能性あり）

【症状】

感染後3週間

- ・感染部位（陰部、口唇部、肛門等）のしこり
- ・鼠径部のリンパ節腫脹



感染後3か月

- ・手のひら、足の裏、体全体の発疹（バラ疹）、乾癬



感染後数年

- ・皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍
- ・心臓、血管、脳などの複数の臓器の病変

(写真提供) 一般社団法人日本性感染症学会

県保健所（支所）における梅毒検査（要予約、無料、匿名、即日）

【検査概要】

- ・TP法（イムノクロマト法）を用いた血液検査。HIV検査と同時実施
- ・採血後、約1時間程度で結果が判明

【検査を受ける時期】

- ・正確な判定のためには、感染の可能性があった日から3か月を経過している必要があります。

【結果が陽性の場合】

- ・医療機関を紹介します。詳しい検査を医療機関で受けてください。

【予約方法等】

- ・県ホームページ（広島市、呉市、福山市での検査を希望する場合の問合先を含む、新型コロナウイルス感染症対応に伴い、検査休止の場合あり）をご覧ください。



広島県 梅毒検査

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 4年 12月分(令和4年12月5日～令和5年1月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	88	0.20	7.25	↑	10	ヘルパンギーナ	31	0.11	0.19	↓
2	RSウイルス感染症	80	0.29	0.44	↘	11	流行性耳下腺炎	5	0.02	0.08	
3	咽頭結膜熱	58	0.21	0.47	→	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	0.25	1.54	↘	13	流行性角結膜炎	12	0.16	0.60	↘
5	感染性胃腸炎	1,494	5.41	6.21	↗	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
6	水痘	16	0.06	0.27	↘	15	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.02	
7	手足口病	49	0.18	0.57	↘	16	マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.08	
8	伝染性紅斑	3	0.01	0.15		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	38	0.14	0.30	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.14	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 4年 12月分(12月1日～12月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	66	2.87	2.64	↘	23	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	61	3.05	3.45	↘
20	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.83	1.04	→	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	0.25	0.13	
21	尖圭コンジローマ	10	0.43	0.53	↓	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.02	
22	淋菌感染症	28	1.22	1.03	→						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	インフルエンザ	(0.01 → 0.20)
○急減疾患	ヘルパンギーナ	(0.27 → 0.11)
	尖圭コンジローマ	(0.96 → 0.43)

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1~11	12, 13	19~22	14~18, 23~25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	24	結核(24)〔広島市保健所(6),西部保健所(4),東部保健所(13),北部保健所(1)〕
三類	0	発生なし
四類	8	E型肝炎(1)〔福山市保健所(1)〕
		つつが虫病(3)〔広島市保健所(1),西部保健所(1),西部東保健所(1)〕
		日本紅斑熱(1)〔福山市保健所(1)〕
		レジオネラ症(3)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1),西部保健所(1)〕
五類	50	アメーバ赤痢(1)〔東部保健所(1)〕
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(3)〔呉市保健所(1),北部保健所(2)〕
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔東部保健所(1)〕
		急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕
		後天性免疫不全症候群(2)〔福山市保健所(2)〕
		侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔広島市保健所(1),西部東保健所(0)〕
		水痘(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕
		梅毒(37)〔広島市保健所(23),福山市保健所(7),呉市保健所(4),西部保健所(2),東部保健所(1)〕
新型インフルエンザ等感染症	131,380	新型コロナウイルス感染症(131,380)〔広島市保健所(54,624),呉市保健所(8,824),福山市保健所(26,725),西部保健所(14,379),西部東保健所(9,880),東部保健所(13,177),北部保健所(3,771)〕